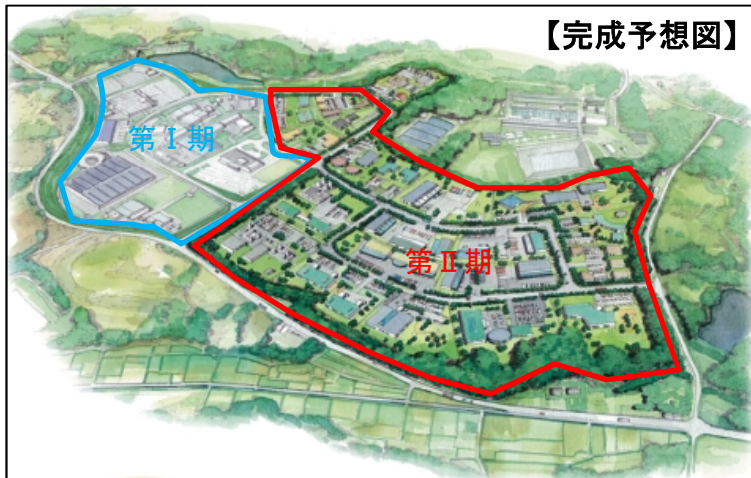


# 企業も待望の下水道 工業団地で雇用創出！

千葉県袖ヶ浦市

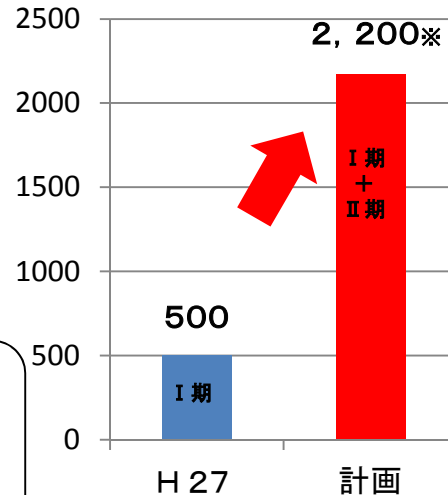
- 交通インフラの整備等、企業立地環境は整いつつあるが、企業ニーズに応えた工業団地が不足。
- 第Ⅰ期事業完了地区には、約12社が立地。平成27年度から、袖ヶ浦市と千葉県が共同で第Ⅱ期整備事業に着手し、平成29年度より土地の分譲開始を予定。
- 第Ⅱ期事業地区へ下水道を整備することにより、立地企業の汚水処理に係る負担を低減し、企業は大量の汚水を排水することが可能となり、製造業等企業の集積に貢献**できる。
- 企業進出により、地域経済の活性化や地元住民の雇用の増大**などが期待される。



袖ヶ浦終末処理場の流入水量

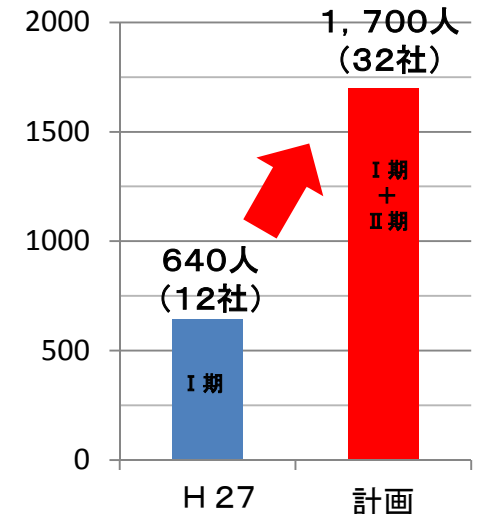
約13,700m<sup>3</sup>/日(平成26年度平均) ⇒約15,400m<sup>3</sup>/日(第Ⅱ期整備完了後の想定)

汚水排水量の増加想定(m<sup>3</sup>/日)



※袖ヶ浦市における約6,000人の排水量に相当

従業者数の増加想定(人)



公共下水道が整備されているから、多業種の企業がきてくれるんですよ。  
(袖ヶ浦市長)

第Ⅰ期地区立地企業(清掃用具レンタル業)  
レンタルした用具を洗浄する際に、使用水量が大量となるため、公共下水道に排水でき助かっている。

企業の声

第Ⅱ期地区立地希望企業(飲料水メーカー)  
製造過程で発生する容器(ペットボトル)の洗浄水等を大量に消費するため、公共下水道に排水できる場所に立地を検討している。